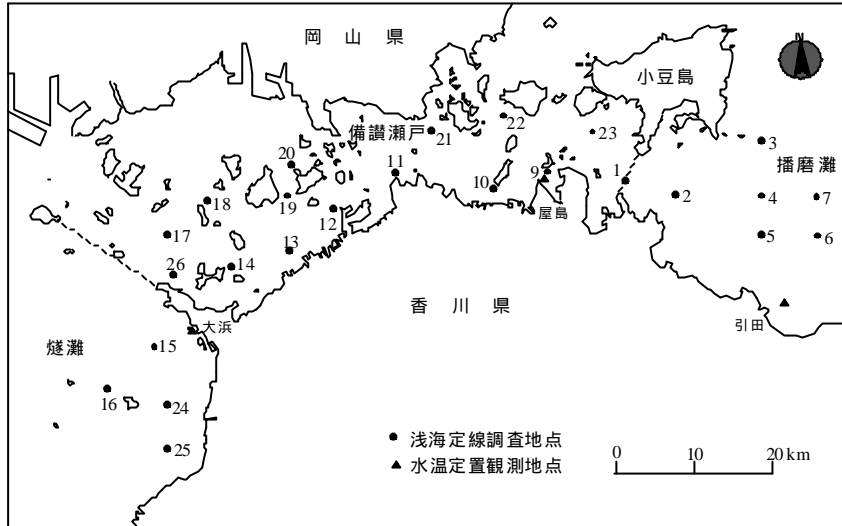


香川県漁海況速報 平成15年3月 (H14-12号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成15年3月5日(播磨灘)、6日(備讃瀬戸)、12日(燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや高めからかなり高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	8.9	8.8	8.8	33.5	33.5	33.6	10.6	6.80	6.66
	平年値	8.4	8.4	8.4	32.8	32.8	32.7	9.0	6.64	6.51
	平年偏差	0.5	0.5	0.4	0.7	0.8	0.9	1.6	0.16	0.15
	状況	やや高め	平年並み	平年並み	やや高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	8.9	8.9	8.9	33.6	33.6	33.6	5.2	6.82	6.74
	平年値	8.5	8.4	8.6	32.9	32.9	33.0	5.7	6.40	6.41
	平年偏差	0.5	0.6	0.3	0.6	0.7	0.5	-0.5	0.42	0.33
	状況	平年並み	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め
燧灘	4地点平均値	9.5	9.3	9.2	33.7	33.8	33.8	7.7	6.83	6.66
	平年値	9.2	9.1	9.0	33.0	33.2	33.2	8.4	6.56	6.33
	平年偏差	0.3	0.2	0.3	0.7	0.6	0.6	-0.6	0.27	0.33
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成8(1996)年度

透明度：昭和58(1983)～平成8(1996)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

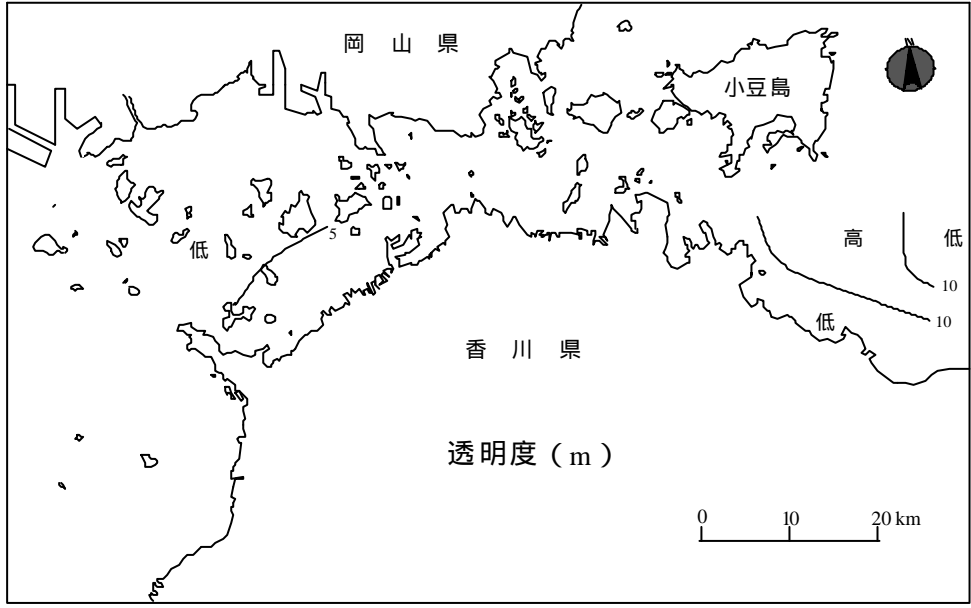
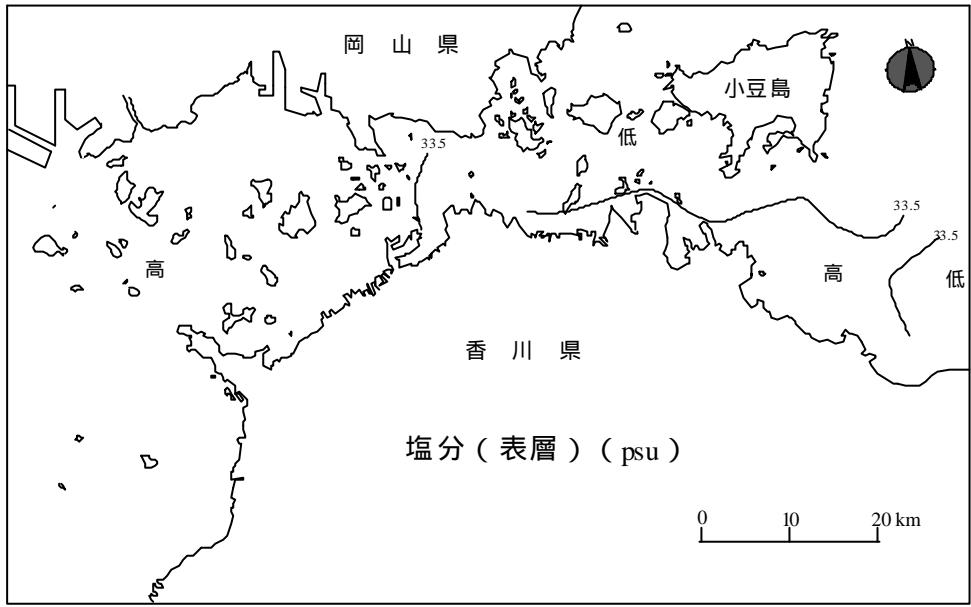
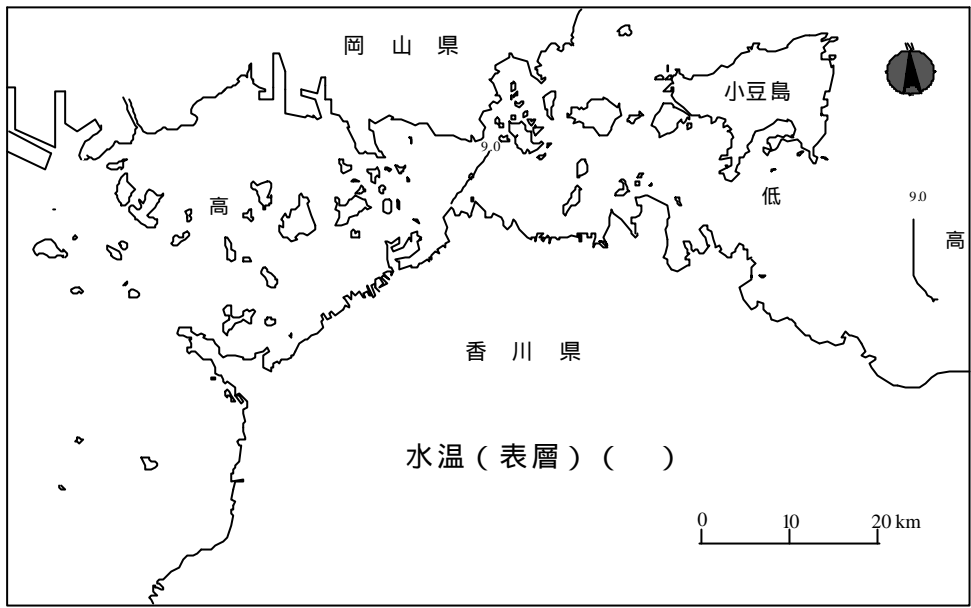
平年並み 0 平年偏差 < 0.6 (: 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差

燧灘と播磨灘・備讃瀬戸の観測日が離れたので、次のページの水温、塩分、透明度の等値線図に燧灘の状況は記載していない。



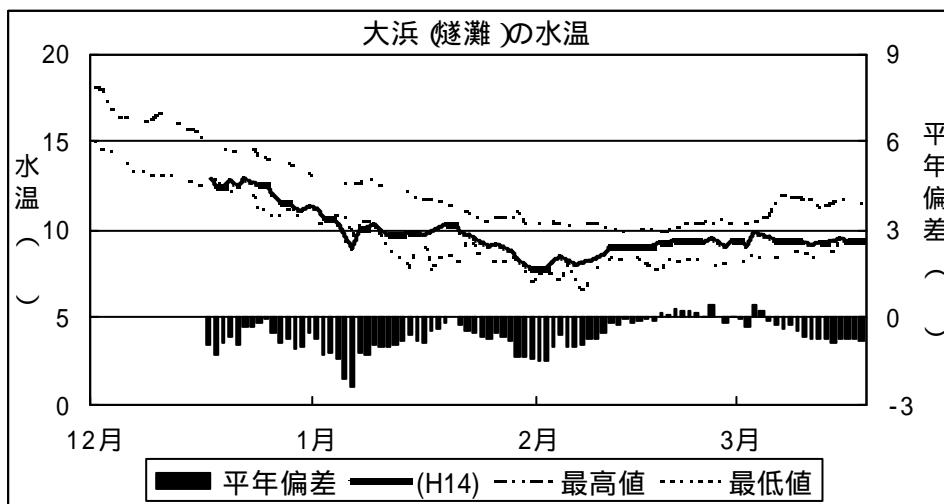
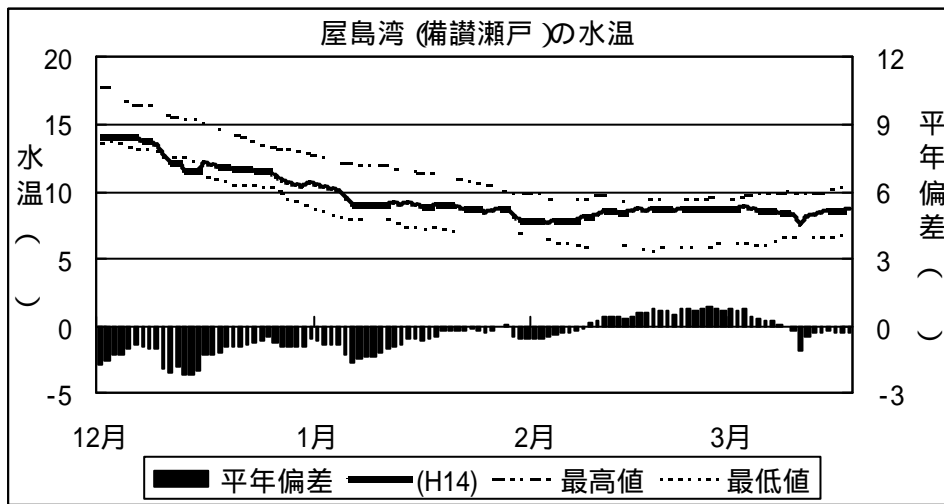
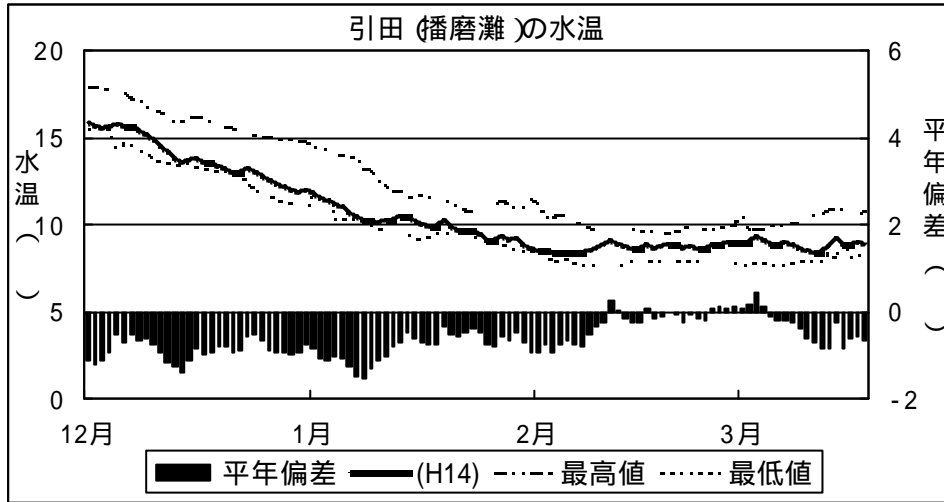
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 2月中下旬平年値前後で推移していたが、3月に入っても上昇が見られず、平年偏差が大きくなり - 1.0 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 2月中下旬、平年偏差が1 前後で推移していたが、3月に入りマイナスに転じ、- 0.3 前後で推移している。

燧灘(大浜): 2月上旬に水温が上昇に転じ、中下旬平年値前後で推移していたが、3月に入り上昇が止まり、平年偏差がマイナスに転じ、- 0.8 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成12(2000)年
屋島: 昭和50(1975)~平成12(2000)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成15年3月5日（播磨灘）、6日（備讃瀬戸）、12日（燧灘）
出現量 個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	0.0%	0.0%
総平均	-	-	0.0%	0.0%

- :平年値が0の場合を示す。

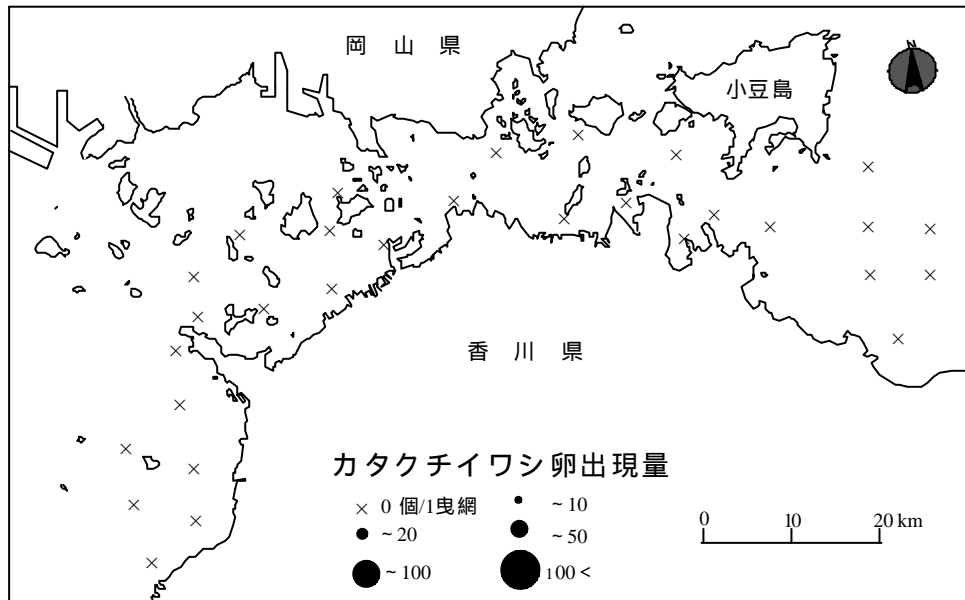
平

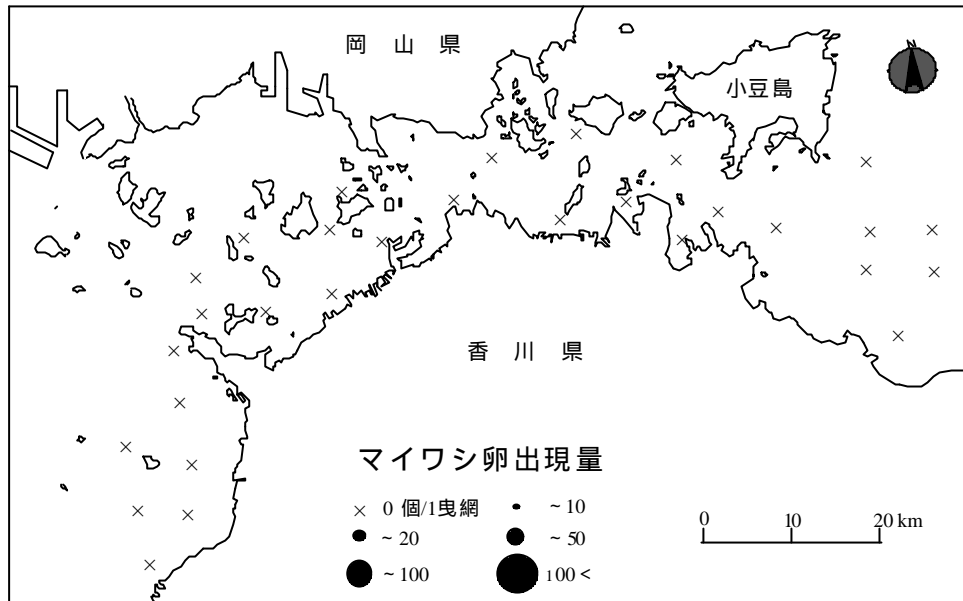
年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成12（2000）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成12（2000）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。





2. 漁況

2月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は全般的に低調であるが、主にウシノシタ類、スズキ、シャコが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、テナガダコが漁獲されている。少なかったイイダコがかなり増えてきた。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量はむき身で 50 ~ 80 k g / 日・隻で昨年より多いが、全般的に小型貝が多い。 高松・庵治沖のイカナゴ込網は2月下旬からシンコが漁獲され始め、3月下旬まで好漁が続いている。
燧 灘	底びき網で主にウシノシタ類、メイタガレイ、シャコ、スズキが漁獲されている。